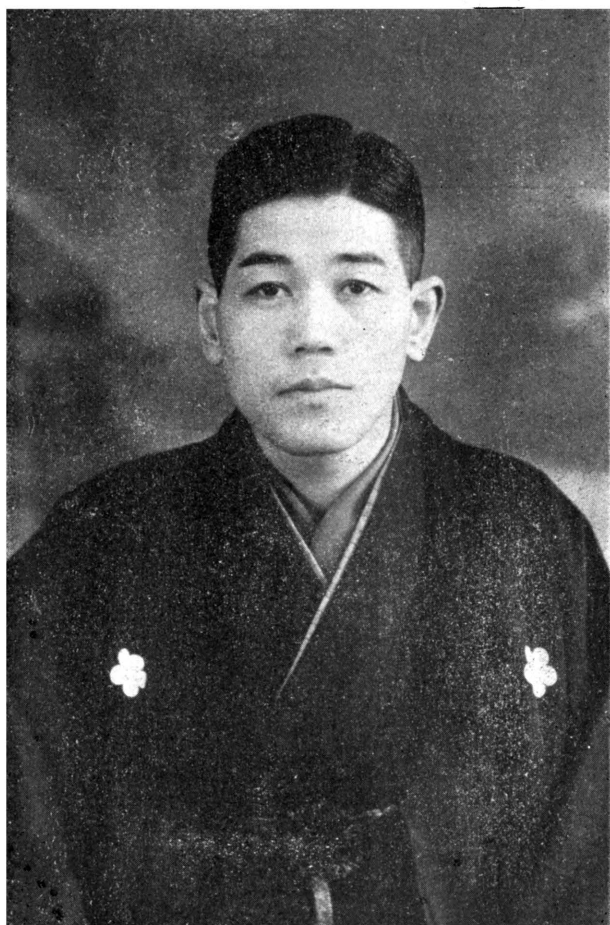




明治四十三年四月廿五日北海道小樽市に生れ柴田實と稱す、大正九年東京梅本香(伯現在二世鶴澤觀西翁)師に就き修行中、同十一年學校の關係にて歸郷す、其の後叔母鶴澤德治に就いて學び、昭和三年六月五日七世野澤吉兵衛に入門し吉季と命名され文樂座に入り今日に至る。今回因協會野澤家一統の推薦を得て五代目を繼襲し文樂座二月興行千本櫻道行にて改名披露を爲す、蓋し此の道行は人形の棟梁吉田榮三、吉田文五郎の朝日賞受領の披露を意味せるものにて忠信(織大夫)の三味線を受持てるは名譽といふべし。因に靜(伊達)糸野澤喜左衛門。

尙ほ大阪素義銃後奉公會は舉つて應援する事となれりと。